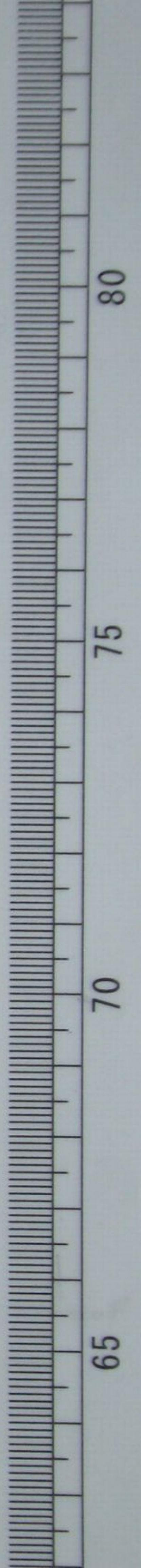


和漢廿四孝

全



特別
イ 4
3159
C88



14
5159
C88

倭漢二十四孝子全



塚原家藏



和漢二十四孝序

抑孝廣天地厚人倫動鬼神感

禽獸百行之本萬善之源忠臣

出孝子之門故先王之遺莫大

於孝仲尼之教莫先於孝諺曰

鳥有反哺之孝鳩在三枝之禮

為人無孝者劣禽獸今此編倭

漢從往昔世人口所膾炙之孝

*夫親小孝りるるのそれ子に孝し居し人倫の源なり
抑孝廣天地厚人倫動鬼神感
禽獸百行之本萬善之源忠臣
出孝子之門故先王之遺莫大
於孝仲尼之教莫先於孝諺曰
鳥有反哺之孝鳩在三枝之禮
為人無孝者劣禽獸今此編倭
漢從往昔世人口所膾炙之孝*

子^ハ廿^ニ四^ノ曹^ノ皆^ハ行^ハ道^ヲ揚^ゲ名^ヲ後^ノ世^ニ以^テ
 顯^ル父^ノ母^ノ者^{ナリ}也^ト輯^シ以^テ題^ス和^漢廿^四孝^ノ
 孝^ノ僅^ニ雖^モ稗^史誠^ニ萬^ノ世^ニ為^ル子^ノ者^ノ之^レ
 良^ク鑑^ニ也^ト能^ク其^ノ意^ヲ可^ク味^フ方^ニ感^ス淚^ヲ箴^ニ
 胸^ニ童^ノ蒙^ル婦^ノ女^ノ是^レ踈^{カニ}勿^ク素^ク覽^ス云^フ爾^ト
 明治三年庚午六月乙巳

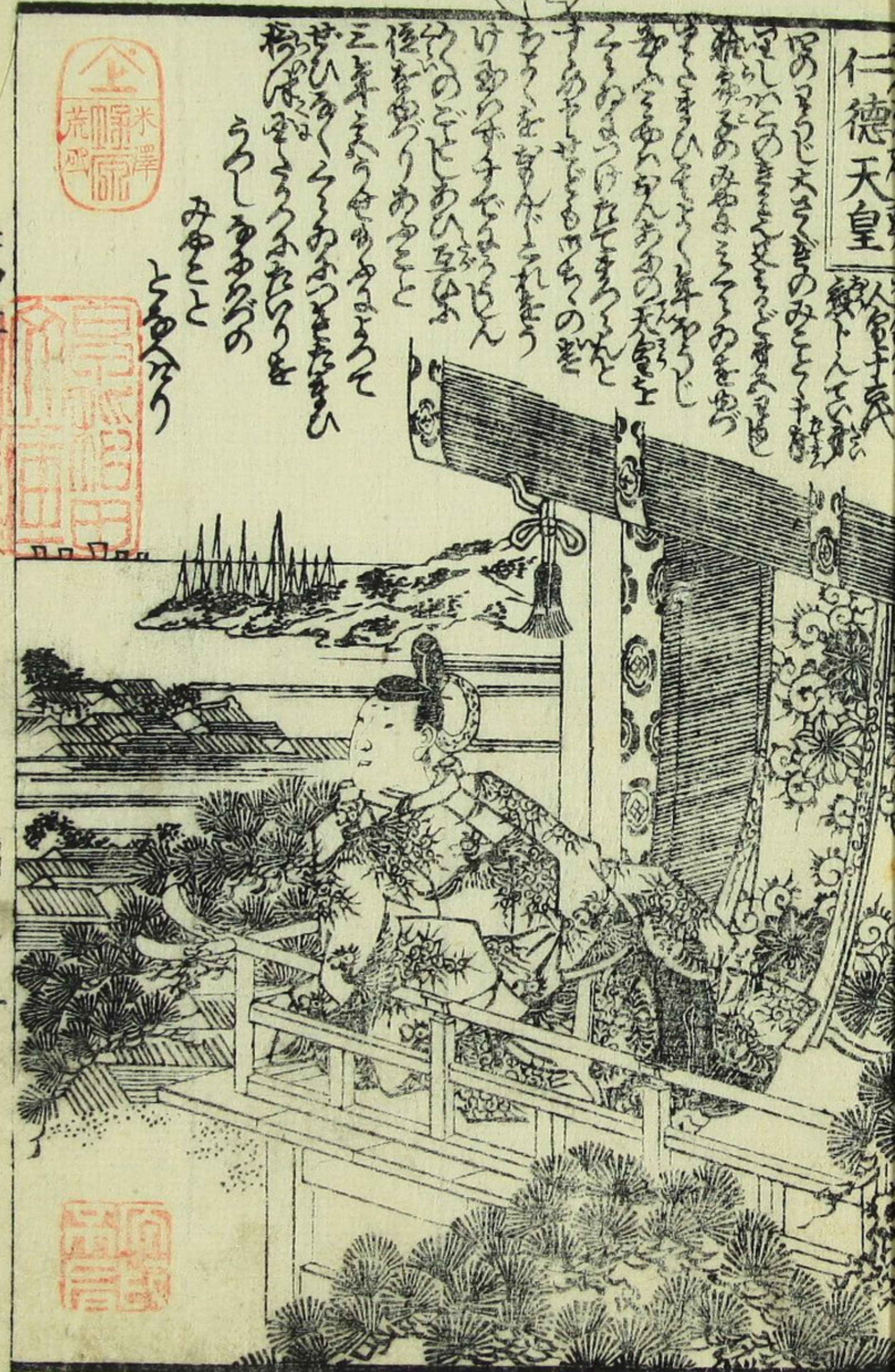
萬竹堂

清雄識並書



仁德天皇

仁徳天皇御宇
 皇紀一千九百一十三年
 乙巳六月廿四日
 孝ノ僅ニ雖モ稗史誠ニ萬ノ世ニ為ル子ノ者ノ之良ク鑑ニ也ト能ク其ノ意ヲ可ク味フ方ニ感ス淚ヲ箴ニ胸ニ童ノ蒙ル婦ノ女ノ是レ踈カニ勿ク素ク覽ス云フ爾ト



土田孝子

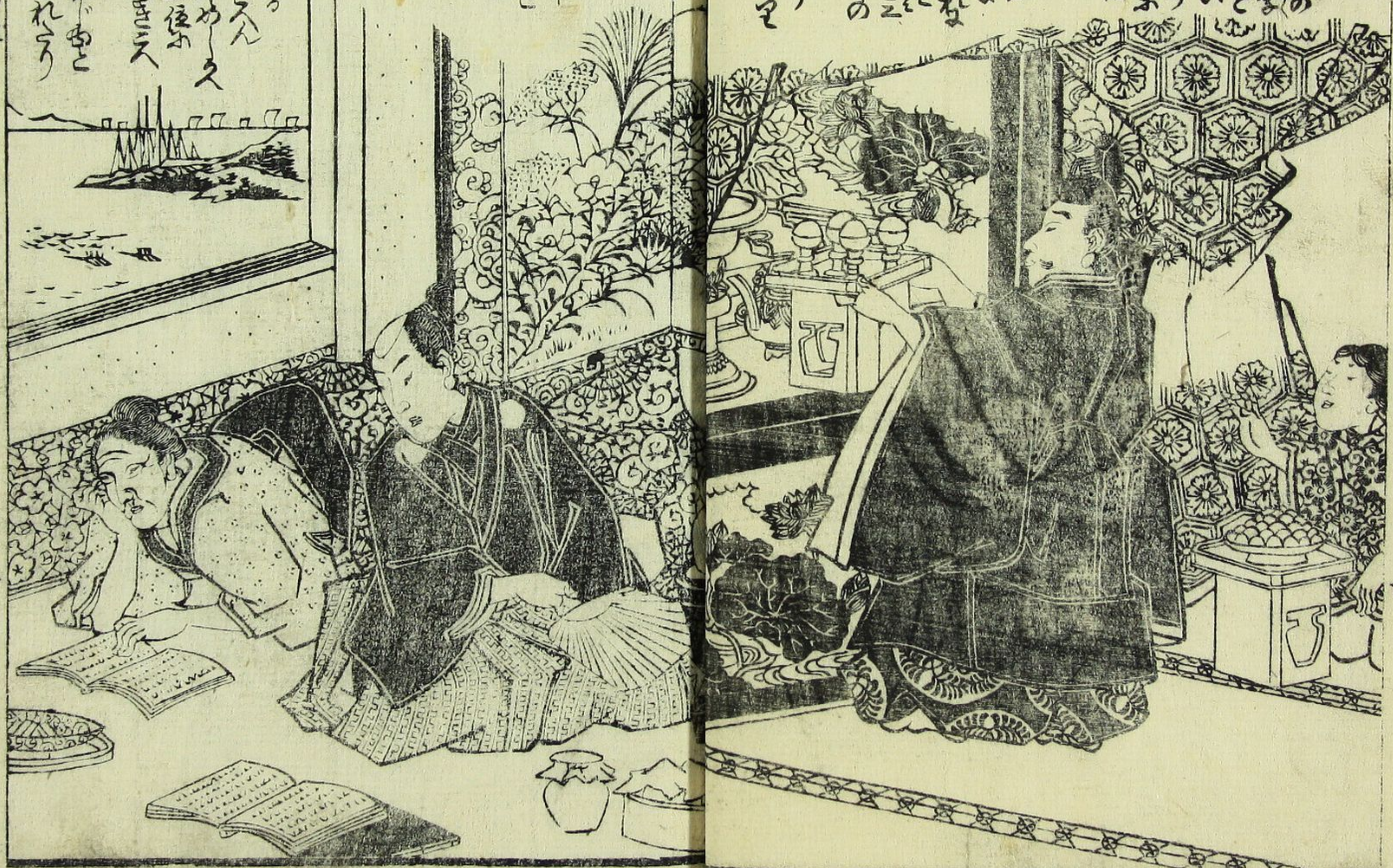


紀夏井

おは位下す...
ひは中ん身のもの
正ふゆまきなま
在中茶ふ中まう
あん世まごれま
あれとうまひえ
たんまきま
のふふまごま
...
けり

小野篁

天ちゆうふ年父
おれれ...
けん...
らる海の...
ひなた...
...
世またく
...
あなれ



上ロ

下

竹内邑今女

竹内邑今女 ちねの國ちねの
 うちむくの郡民
 ありがしきむすめ命女といふ
 なるより 柳のつれ一人の又を
 うきりあぐたひせつあはれな
 歌さのめてまろしきまのあま
 まをねどもその又のぞむ
 しのこちをつしてこれをとて人
 あらるふあるとまをわさく
 せんををりあつりなふのあ
 あられもあすもとめんとするふ
 あらあをれはあんとせんあ人
 又つひつまのむづりあをを
 あらひはあはれあややきや
 たつてあやきしあひの
 らあ人又あまのこひあを
 入りのあま女をま

まろめあはれあ
 うらあま入
 なるあはれし



北條泰時

北條泰時 ちねの國ちねの
 うちむくの郡民
 ありがしきむすめ命女といふ
 なるより 柳のつれ一人の又を
 うきりあぐたひせつあはれな
 歌さのめてまろしきまのあま
 まをねどもその又のぞむ
 しのこちをつしてこれをとて人
 あらるふあるとまをわさく
 せんををりあつりなふのあ
 あられもあすもとめんとするふ
 あらあをれはあんとせんあ人
 又つひつまのむづりあをを
 あらひはあはれあややきや
 たつてあやきしあひの
 らあ人又あまのこひあを
 入りのあま女をま



蒙求二日
孝子傳
丁蘭事
母孝母亡
刻木為母
云々

丁蘭

人之其孝者其母也
丁蘭の母は孝母に死す
蘭は母を刻木に代りて
養ふ事ありしが
孝の事ありしが
人々其の孝を
慕はば丁蘭の
名を尊ぶ事ありしが
孝の事ありしが
人々其の孝を
慕はば丁蘭の
名を尊ぶ事ありしが

閔子騫

閔子騫の母は
二人の子を養ひし
事ありしが
孝の事ありしが

閔子騫の母は二人の子を養ひし事ありしが
孝の事ありしが
人々の孝を慕はば
閔子騫の名を尊ぶ事ありしが
孝の事ありしが
人々の孝を慕はば
閔子騫の名を尊ぶ事ありしが



詩曰
閔子騫の母は
二人の子を養ひし
事ありしが

風霜
閔子騫の母は
二人の子を養ひし
事ありしが

七十四

七十四

王祥生母
 性至孝繼
 母未代不
 慈而祥愈
 恭謹父母
 疾衣不解
 帶湯藥
 必親嘗
 嘗欲生魚
 時天寒水
 凍祥解衣
 云云母又苦
 雀之多也
 黃雀數十
 飛入其養
 卿里數日
 又有丹李
 母命守之
 每風而輒
 抱樹而泣
 嘗孝純
 至如此漢
 末遭亂後
 母攜年
 隱居三十
 州郡之命
 乃應召二
 累遷太
 尉封太保

曾參

曾參字子思魯之南河上人也
 少而好學其父有疾嘗衣不解
 帶湯藥必親嘗嘗欲生魚時
 天寒水凍祥解衣云云母又苦
 雀之多也黃雀數十飛入其養
 卿里數日又有丹李母命守之
 每風而輒抱樹而泣嘗孝純至
 如此漢末遭亂後母攜年隱居
 三十州郡之命乃應召二累遷
 太尉封太保

詩曰
 母指慈方醫兒心痛又探
 負薪歸味晚骨肉至情深



王祥

王祥字季野河内温人也
 性至孝繼母未代不慈而祥愈
 恭謹父母疾衣不解帶湯藥必
 親嘗嘗欲生魚時天寒水凍祥
 解衣云云母又苦雀之多也黃
 雀數十飛入其養卿里數日又
 有丹李母命守之每風而輒抱
 樹而泣嘗孝純至如此漢末遭
 亂後母攜年隱居三十州郡之
 命乃應召二累遷太尉封太保

詩曰
 繼母人間有王祥天下無
 至今河水上一片臥冰模



廿四孝

蒙求三
高子傳二
老萊子八
楚人少以
孝行著
親極甘脆
年七十父
母猶存
某服襤褸
之衣為聖
兒之戲於
親前不
稱老云

老萊子

孝行著
親極甘脆
年七十父
母猶存
某服襤褸
之衣為聖
兒之戲於
親前不
稱老云

詩曰
戲舞學嬌痴
春風動
彩衣双親開
口
笑喜色滿庭
開

姜詩

姜詩
孝行著
親極甘脆
年七十父
母猶存
某服襤褸
之衣為聖
兒之戲於
親前不
稱老云

詩曰
舍側甘泉出
一朝双鯉魚
子能知事母
婦更孝於姑

吐口



唐夫人

唐夫人の事

おけりよあらはれし唐夫人の事
能くやくめありし唐夫人の事
つりてのありし唐夫人の事
あひまをりありし唐夫人の事
あひまをりありし唐夫人の事
あひまをりありし唐夫人の事
あひまをりありし唐夫人の事
あひまをりありし唐夫人の事
あひまをりありし唐夫人の事
あひまをりありし唐夫人の事

此の恩無以報
願得子孫如
乳母
孝敬
家婦
此の恩無以報
願得子孫如
乳母
孝敬
家婦

董永

董永の事

董永の事
董永の事
董永の事
董永の事
董永の事
董永の事
董永の事
董永の事
董永の事
董永の事

詩曰
董永賣方兒
天妃陌上
近織績償債主
孝感盡知



董永の事

天妃陌上

董永の事
董永の事
董永の事
董永の事
董永の事
董永の事
董永の事
董永の事
董永の事
董永の事

十一

十一

後漢黃香 字文強 江夏安陸人 博學經史 究精道術 能文章 師號曰天 下無雙 江夏黃香 此詩未冠 故云官至 尚書令 魏 郡太守 陶淵明曰 孝子傳 香九歲 失 母思慕 致致冬 無 被褥而 泣味暑 則以身 溫 席和 嘉之 特加 異賜

廿四孝

揚香

ひとり父老のそりあす
 父老の山の中へ
 なるまあわが身も
 正をわめられたる
 りんとしつり
 天のわかれ
 無恙脱離
 口の中



黄香

夏 冬 温 夏 天 扇 枕 涼
 日 児 童 知 子 職 一 千 古 一 黄 香

父老のそりあす
 父老の山の中へ
 なるまあわが身も
 正をわめられたる
 りんとしつり
 天のわかれ
 無恙脱離
 口の中



廿四孝

黄香

夏 冬 温 夏 天 扇 枕 涼
 日 児 童 知 子 職 一 千 古 一 黄 香

晋書王象
字偉元城
陽郡晉寧
陵縣人少
立操尚博
學子多能
其父僕為
文帝司馬
見殺云々

王象

象の事、晋書にあり、其の節行、
立操尚博學子多能、其父僕為
文帝司馬、見殺云々、
象、晋寧陵縣人、少立操尚博
學、子多能、其父僕為文帝司
馬、見殺云々、

詩曰
慈母 怡聞雷
阿 槐 夜 風 聲
到 墓 廻 千 回
阿 槐 夜 風 聲
到 墓 廻 千 回



素求二日
昔注引孝
子傳云後
漢郭巨家
貧養老母
三歲母常
減食與之
巨謂妻曰
貧乏不能
供給共汝
埋子子可
再有母不
可再得妻
不取違巨
遂掘坑二
尺餘忽見
黃金一釜
金上天
賜孝子
云々

郭巨

郭巨の事、漢書にあり、其の節行、
貧養老母、三歲母常減食與之、
巨謂妻曰、貧乏不能供給共汝、
埋子子可有母、不可再得、妻不取
違、巨遂掘坑二尺餘、忽見黃金一釜、
金上天、賜孝子云々、



詩 郭巨 思 袂 浴 埋 子 願 母 存
日 黃金 天 所 賜 光 彩 照 寒 門

業求三言
吳志陸績
字公紀吳
人年六歲於
九江見袁
術術出橘
績懷三枚
本拜辭曰
地術謂曰
陸即作實
器而備
乎績跪曰
欲歸遠每
術大奇之
績博學多
識星歷著
數無不該
覽孫權辟
為掾以直
道見擢出
守加偏將軍
軍績意在
儒雅非其
志也雖有
業述不廢
作洋天圖
注易釋玄
皆傳於世

朱壽昌

朱壽昌の事
父を以てを尋り
乃れ其の母を
あつかりたり
を尋ひて母を
つひに得たり
年小くして母
を尋りて母を
ありといふも
ろくきすといふ
もすて母といふ
たつて母を尋
母を尋せしむ
天より人ありを
つひに得たり
つひに得たり

詩七 歳生 離母 一朝相見面

參商五十年 喜氣動皇天



陸績

陸績の事
年六歳於
九江見袁
術術出橘
績懷三枚
本拜辭曰
地術謂曰
陸即作實
器而備
乎績跪曰
欲歸遠每
術大奇之
績博學多
識星歷著
數無不該
覽孫權辟
為掾以直
道見擢出
守加偏將軍
軍績意在
儒雅非其
志也雖有
業述不廢
作洋天圖
注易釋玄
皆傳於世

日 詩
孝悌皆天性 人間
六歳見袖中 懷綠
橋送母報舍 節



後漢江草 字次翁著 國臨滄人 少失父獨 與母居遷 亂負母逃 難備歷阻 險常採拾 以爲養 云々 以老母不 欲擅動自 在輜中執 車不用牛 馬車是御 里稱江巨 孝及母終 學政良 方正遷 司空長 史肅宗 崇禮之 拜諫議 大夫賜 歸因謝 病常以 存問致 羊酒以 厥身巨 之補行 下

江草

日 詩 哀告俱獲免 庸力以供繼

八月長史 負母逃難 危難 究途 賊犯 頻 哀告俱獲免 庸力以供繼

日 詩 哀告俱獲免 庸力以供繼



吳猛

詩曰 夏夜無帷帳 蚊多不敢揮 恣渠膏血飽 免使入親園

吳猛 蚊多不敢揮 恣渠膏血飽 免使入親園

夏夜無帷帳 蚊多不敢揮 恣渠膏血飽 免使入親園



